

2024年度事業報告書

I. 組合の事業活動の概況に関する事項

(1) 事業年度の末日における重要な活動の内容

主要な取り扱い事業種目等

事業種目	主な事業品目等
医療事業	病院（臨床研修指定病院 一般311床 医療療養病床40床） 診療所（内科・歯科） 訪問看護 健康診査
福祉事業	介護医療院 訪問介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 通所介護 短期入所療養介護 居宅療養管理指導 福祉タクシー 居宅介護支援 介護タクシー 住宅型有料老人ホーム・高齢者有料賃貸住宅 サービス付き高齢者向け住宅
医療福祉等附帯事業	院内売店 患者用駐車場

(2) 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

★松江保健生協の2024年度決算の概要

24年度の経常剰余は2,040万円となりました。予算に対し1億655万円未達成となったものの、前年に対しては1億4,087万円の改善となりました。前年と比較して改善が進みましたが、特筆すべきは、事業剰余金が▲5,506万円に達している点であり、本業である医療・介護事業が依然として赤字体質であるという重大な課題が存在することです。

補助金収入5,041万円を含めた事業外収益9,578万円があり、経常剰余金で2,040万円、当期剰余金で177万円（税引き後）となりました。

事業収益は81億3,189万円で予算比95.5%、予算差▲3億8,274万円。事業費用は81億9,896万円で予算97.3%、予算差▲2億2,664万円となりました。収益・費用とも予算を下回りましたが、収益未達成がより大きくなった状況です。

23年度経常剰余▲1億2,046万円に対し、24年度は僅かではありますが黒字となり、2年連続の赤字を回避することができました。松江保健生協が抱える経営的な困難打開にむけ、職員一丸となって経営改善に取り組んだことが要因です。そして、「断らない」を合言葉に松江圏域（松江・安来地域）の救急医療を守り抜いたこと、要介護者と高齢者の生活と笑顔を大切に、地域からの信頼を広げたことが経営改善につながりました。

部門ごとに前年と比較すると、入院部門2億3,928万円、健診部門1,465万円、施設介護部門3,081万円、歯科部門714万円増収しました。一方、歯科を除く外来部門が5,338万円、通所・居宅サービス部門で5,039万円、訪問サービス661万円の減収となりました。通院と通所の収益減解消が大きな課題のひとつです。

事業所グループ別の経常剰余は、生協病院グループが3,592万円、虹グループが1,504万円、学園グループが311万円、歯科クリニック157万円となりました。歯科の黒字は9年ぶりです。ふれあい在宅グループが▲529万円、東出雲診療所グループが▲3,021万円となりました。

【各事業所グループの経営概況】

	事業収益	予算比	前年比	経常剰余
生協病院グループ	64 億 3,646 万円	96.0%	103.5%	3,592 万円
ふれあい在宅グループ	1 億 8,839 万円	90.7%	94.1%	▲529 万円
介護医療院虹グループ	11 億 8,209 万円	96.4%	100.5%	1,504 万円
東出雲診療所グループ	8,147 万円	72.3%	97.4%	▲3,021 万円
歯科クリニック	1 億 3,080 万円	92.2%	105.5%	157 万円
学園福祉センター	1 億 1,435 万円	91.7%	99.9%	311 万円
合 計	81 億 3,189 万円	95.5%	102.2%	2,040 万円

*各事業所の事業収益には、グループ間の取引を含んでいます。また本部を除いています。

★患者・利用者数 入院・入所部門、健診部門、歯科は前年を上回る。介護事業はサービス別ではほとんどが前年を下回る。

生協病院の病床稼働 323.3 床/日（前年差 8.9 人）。介護医療院虹の稼働 177.1 床/日（前年差 3.8 人）となりました。

1 日当たり外来患者数は患者計画に対して、生協病院外来（救急、透析など）は、救急搬入数は 1863 件（前年比 102%）となり増加しましたが、患者数は 58.2 人/日（前年差 ▲1.4 人）となりました。ふれあい診療所は 300.6 人/日（前年差 ▲5.6 人）、クリニック虹は 5.0 人/日（前年差 ▲4.8 人）、東出雲診療所は 14.9 人/日（前年差 ▲0.8 人）、歯科クリニック 58.5 人（前年差 1.3）、のぞみ訪問看護 14.4 人/日（前年差 ▲0.3 人）となりました。

居宅介護事業所利用者数は、サービス別では、ヘルパー3 事業所計 84.0 人/日（前年差 0.1 人）、デイサービス 5 事業所計 88.7 人/日（前年差 ▲16.5 人）、訪問看護（訪問リハ含む）19.1 人/日（前年差 ▲0.9 人）、訪問リハビリ 13.7 人/日（前年差 0.8 人）となりました。

また、ケアプラン作成件数は 4 事業所で 720 件/月となり、前年に対して 41 件/月減少しました。

【一日あたり患者・利用者数】

	入院・入所	外来	通所	ヘルパー	訪問看護 /リハ	健診	高齢者 住宅
	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比
生協病院グループ	323/ 103%	360/98%	18/ 97%	* *	* *	49/ 102%	* *
ふれあい在宅グループ	* *	* *	17/92%	27/96%	19/96%	* *	* *
虹グループ	177/102%	5/ 52%	38/ 97%	28/101%	14/106%	* *	46/ 112%
東出雲診グループ	* *	15/ 100%	14/ 93%	* *	* *	* *	* *
歯科クリニック	* *	59/102%	* *	* *	* *	* *	* *
学園福祉センター	* *	* *	19/ 94%	29/103%	* *	* *	* *
合 計	500/ 103%	438/97%	106/ 97%	84/ 100%	33/100%	49/ 100%	41/ 86%

*ケアプランは月平均 720 件

1 日患者・利用者数は各事業所の利用日に基づく。小数点以下は四捨五入

★事業費用 81 億 8,696 万円（予算差▲2 億 3,865 万円，前年差▲1 億 1,016 万円）

予算を超過した項目では、薬品費 815 万円、給食材料費 1,024 万円、委託費 1,426 万円の超過となりました。

	累 計		
	累計実績	予算差	前年差
医福材料費	12 億 1,191 万円	▲2,116 万円	▲2,096 万円
（薬品費）	4 億 1,049 万円	815 万円	167 万円
（診材費）	6 億 4,670 万円	▲3,955 万円	▲2,177 万円
（給食費）	1 億 5,471 万円	1,024 万円	▲85 万円
人件費	51 億 6,971 万円	▲1 億 3,656 万円	▲4,870 万円
委託費	6 億 5,411 万円	1,426 万円	741 万円
物件費	7 億 9,049 万円	▲4,860 万円	▲3,322 万円
事業費用計	81 億 8,696 万円	▲2 億 3,865 万円	▲1 億 1,016 万円

診療材料費が予算を 3,955 万円下回りました。給食材料費は物価高騰により予算を 1,000 万円上回りましたが、ほぼ昨年並みに止まりました。人件費は前年を 4,800 万円下回りました。委託費が予算・前年差とも大きく伸びていますので、保守費などの見直しも必要です。物件費は予算、前年とも大きく下回りましたが、引き続き厳格な管理が求められます。

経営指標の一つである人件費＋医療福祉材料費＋委託費の収益比計は 86.8%となり、適正値の上限 84%を上回っています。収支のバランスを適正化していかなければなりません。

★「連携」「断らない」を進め、地域の医療・介護要求に応えてきました

連携強化の点では開業医懇話会や高齢者施設懇談会を実施し、顔の見えるつながりでより連携を強めました。法人管理者会議を開催し、法人内の医療介護連携強化を足掛かりに、法人外の事業所との連携を強めていきます。

また、「断らない」を合言葉に、増加する救急搬入の受入れや無料低額診療事業の取組み、最期まで本人の生き方が尊重される医療・介護を実現するためのアドバンス・ケア・プランニングの推進や自宅で最期を迎える方への訪問支援など“いのち”に向き合った医療・介護を実践してきました。

これらは他の医療機関や全国の医福連事業所にも誇れる取組みであり、法人理念とマッチした事業です。引続き 25 年度も「連携」「断らない」を進め、地域の医療・介護要求に応え、同時に経営改善を進めます。